



岡山連携中枢都市圏の 令和8年度の取組について

人口減少・少子高齢化のなかでも、行政サービスを安定的に提供し、地域経済を持続可能なものとするため、岡山市をはじめとする8市5町で岡山連携中枢都市圏を形成し、多くの連携事業に取り組んでいます。

岡山連携中枢都市圏における令和8年度の新たな取組についてお知らせします。

1 内容

○加齢性難聴の早期発見・早期ケア

補聴器アドバイザーによるスクリーニング検査や講話を連携市町内でも実施し、加齢性難聴の早期発見・対応に取り組むことで、生活の質の向上、健康寿命の延伸に繋げる

○不当要求行為等への対応支援

不当要求行為等への対応力向上を図る研修を実施し、より質の高い行政サービスの提供を図る。あわせてカスタマー・ハラスメントへの対応策の検討を行う

2 その他

(資料)岡山連携中枢都市圏の令和8年度の主な取組について

その他の取組については、下記のURL先の「第2期岡山連携中枢都市圏ビジョン【別冊】」を参照してください。

<https://www.city.okayama.jp/shisei/0000020931.html>

【問い合わせ先】

岡山市 政策企画課 青山・上田

直通086-803-1040 内線3585・3581

岡山連携中枢都市圏の令和8年度の主な取組

岡山連携中枢都市圏

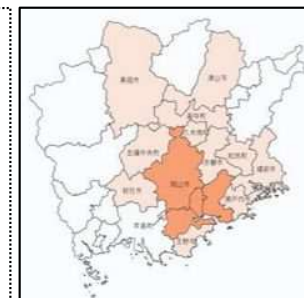
【構成市町】

岡山市、津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町

連携中枢都市圏の概要

人口減少・少子高齢社会の中で、地域において、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が近隣の市町村と連携し、一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成を図る

- ▶ 平成28年度に近隣7市5町と岡山市を中心とする岡山連携中枢都市圏を形成
- ▶ 平成29年度から、連携中枢都市圏ビジョンに基づいて、持続可能で活力ある圏域づくりに向けて、広域連携による取組をスタート



圏域全体の経済成長のけん引

○スタートアップ企業支援

スタートアップ支援拠点施設「ももたろう・スタートアップカフェ(ももスタ)」でのイベント・プログラムの実施等により、スタートアップを目指す層の増加やスタートアップ企業の創出を図る

○圏域内周遊に向けた観光資源発信

「日本遺産『桃太郎伝説』の生まれたまち おかやま」の構成文化財を巡る周遊企画やコンテンツの造成、情報発信等により、国内外からの誘客拡大や交流人口の増加を図る

【R8取組追加】多言語音声ガイドの制作



高次の都市機能の集積・強化

○JRの利用促進と駅機能強化

岡山駅前広場への路面電車の乗り入れ整備や、駅の機能の強化、パーク&ライドによる鉄道の利用促進等により、公共交通を中心とした利便性の高い交通体系を構築する

【R8取組追加】法界院駅のバリアフリー化、福渡駅前広場の整備工事等



圏域全体の生活関連機能サービスの向上

○路線バス等生活交通の維持・確保

高齢者・障害者等への運賃割引制度「ハレカハーフ事業」の実施や、バス路線の再編等により、日常生活に欠かせない生活交通を圏域内で維持・確保する

○加齢性難聴の早期発見・早期ケア【R8年度新規】

聞こえに関するスクリーニング検査や講話を実施し、難聴の早期発見・対応に取り組むことで、圏域住民の生活の質の向上や健康寿命の延伸に繋げる



○救急安心センター事業(R8.7.1まで)

急な病気やケガをした時に、救急車の要請や医療機関の受診の可否などに迷った際、看護師などの専門家が電話でアドバイスを行う
※R8年度から玉野市、備前市、早島町が新規参加

○夜間中学の運営

様々な理由により実質的に義務教育を受けることができなかった圏域住民等に対し就学の機会を確保する(R7.4開設)



○外部専門人材の活用／デジタル人材の育成

専門分野での知識・経験を持った民間人材(外部専門人材)の活用や、デジタル技術の研修の実施を通じて、職員のスキルアップにより、行政課題への対応力強化や住民サービスの向上を図る

○不当要求行為等への対応支援【R8年度新規】

不当要求行為への対応力向上を図る研修を実施し、より質の高い行政サービスの提供を図る。あわせて、カスタマー・ハラスメントへの対応策の検討を行う

